

危機に遭遇した発達とその支援

現在の発達心理学は生涯発達心理学と呼ばれ、生涯発達の流れの中で生じる発達の多様性を研究しています。このシンポジウムでは、生涯発達の流れの中で生じる発達の危機をとりあげ、その危機が発達にどのような影響をもたらすかを、実践研究・実証研究から明らかにするとともに、支援の視点からその危機をどのように乗り越えるかについても考えます。発達心理学の伝統的な視点としては、発達初期、特に乳幼児期、児童期に焦点が当てられることが多かったのですが、発達の危機は生涯のどこでも生じる可能性があることに留意します。発達の危機は誰にでも起こる可能性があり、避けることができません。それを受け入れ、多様な支援によってのりこえるとともに、危機を予測して対処する準備もする必要があるでしょう。

日時 2026年1月12日(月・祝) 13:00~16:00

方法 オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

参加費 無料 **定員** 先着500名

対象 特に受講対象者を限定しません。一般の方、発達危機に関心のある高校生・学生・大学院生・研究者の参加を期待します。

話題提供

長崎勤 (実践女子大学)

発達障害による危機を伴う発達とその支援

東恩納拓也 (東京家政大学)

身体障害による危機を伴う発達とその支援

松平泉 (東北大学)

脳障害による危機を伴う発達とその支援

塩崎尚美 (日本女子大学)

幼児期・児童期の虐待の危機を伴う発達とその支援

指定討論

氏家達夫 (名古屋大学) **長澤真史** (関東学院大学) **米田英嗣** (青山学院大学)

参加申込み



https://zoom.us/webinar/register/WN_1VZKuE1uT26d5A6fWKcUZg

参加申込みはZoomの登録ページからお願いします。ご登録後、参加用リンクが自動送信されます。